

公益社団法人 日本技術士会 九州本部 倫理委員会  
2024 年度 第 3 回 定例会  
【議事録】

開催日：2024 年 11 月 16 日（土）13:30～16:00

場所：WEB（MicrosoftTeams）

参加者：WEB 15 名 会議室(Teams 接続担当) 1 名（欠席者 7 名）

(1) 新倫理綱領についての意見発表と意見交換

新しい技術士倫理綱領を題材とした研鑽(意見発表・意見交換)は、来年で一区切りとなる。その後の研鑽は、「法と倫理」をテーマとした継続企画を 2025 年度第 4 回定例会から開始する。今回の定例会では研鑽企画の具体的な方針を企画配信タスクチームから提案があり意見交換を行なった。

● 研鑽テーマ（『法と倫理』）の進め方について

技術士倫理綱領改正における『 8. 法令等の遵守』（2024 年度第 1 回定例会発表）の振り返りをした上で、『法と倫理』の研究テーマの進め方案が提案された。

具体的な例として、企業倫理・組織倫理・安全倫理・環境倫理・情報倫理をピックアップした。発表者の方からは、選定した法令の理由、発表者との関連性などの紹介や事件事例などを盛り込んでいただく。

● 意見交換

・大分類の法令と、個別の法令との括り方についてある程度の方向性を決める。

・技術データ流出に関して、企業を退職した人の扱いや留学生による研究データの流出など、個人や企業に対しての法令に固執するのではなく柔軟な議論も取り上げる。

上記を踏まえて、企画配信タスクチームで再考いただく。

(2) タスクチームからの報告

● 活動管理タスクチーム

技術士だより・九州 季刊誌 原稿執筆状況 第 139～141 号  
倫理委員会活動報告 それぞれ各定例会の議事録を整理した。

● 教育啓発タスクチーム

テーマ 1：協賛団体への活動について、アンケートの実施をクローズし、テーマ 2：「倫理観の多様性に関する研究及び活動」にシフトする。

勉強会の実施。今後も、チームメンバーが資料持ち寄り発表意見交換を行う。

● 連携交流タスクチーム

11 月 2 日（土）中国本部主催による協カイベントに九州本部から 3 名が参加した。

テーマは、次の 2 題であった。

「ウクライナにおける戦争 経済と技術が引き起こす東西対立と世界平和を考える」

大阪経済大学国際共創学部 友次先生

「動物の権利訴訟から考える環境倫理」九州本部倫理委員会 井内委員

来年度は全国大会開催年であるので、倫理委員会として前日の情報交換会のホスト役を勤めるミッション

がある。共同してイベントを練っていくことも一考である。

中国本部の倫理委員会は、これから四国本部の倫理委員会の参入も視野に入れており、3地域本部の倫理委員会で、持ち回り公開型 CPD を行なっていく構想がある。

【意見】2025年10月は、技術士会全国大会が開催されることもあり、負担増にならない配慮も必要である。

### (3) 会務報告

#### ● 統括本部倫理委員会・技術者倫理情報連絡会報告

第50回技術士全国大会10月4日、技術者倫理情報連絡会が北海道で開催された。

統括本部倫理委員会からの活動報告、北海道本部倫理委員会の活動報告及び提言を受ける。

後半は、各地域本部から持ち込まれた、課題の議論がなされた。九州本部から会場参加として、6名参加した。大学、高専講師の定年による講師不足などの情報共有を行なった。

#### ● 2025年度 倫理委員会 活動計画・活動体制

11月15日九州本部合同役員会において報告した原案が共有された。

委員長変更と退会者の紹介があった。

#### ● 九州本部 2024年度 第4回 CPD における倫理枠講師の派遣について

(教育啓発タスクチームが人選中) ⇒進捗について、確認する。

#### ● 2024年度 第4回定例会 (2025/2/1) の役割分担 (確認・依頼)

新技術士倫理綱領解釈の意見発表者の選定。

第4回定例会議事録作成者の選定。

(技術士だより／冬季号143号:R7.4.1 発行 寄稿原稿作成含む)

#### ● 倫理委員会会則の改訂について ⇒ 改訂案については第4回定例会開催時に承認をいただく。

以上